

7. 教育センター

教育センターは、本学医学・看護学の卒前ならびに卒後教育の支援組織として、教育を推進する。これらの活動を通して、東京慈恵会医科大学の発展に寄与し、国民のための医療者教育の向上に貢献することを目的とする。卒前教育、卒後教育、生涯学習の連続性の中で、大学、附属病院を横断する教育活動について、教育センターは支援する。教育センター長、部門組織は次の通り。

教育センター長 福島 統 教授

- (1) 医師キャリアサポート部門
 - ① 医学教育研究室
 - ② 教育開発室
- (2) 看護キャリアサポート部門
- (3) シミュレーション教育部門
- (4) 地域医療支援部門
- (5) 教育IR部門
- (6) アドミッション部門

1) 公開講座

(1) 大学主催公開講座

教育センターが大学主催（大学および4附属病院が企画・実施）の公開講座を取り纏めた。2019年度は全機関で25回開催した。本公開講座は一般市民および地域医療者を対象とし、大学の社会貢献と広報活動の充実に関する事業としている。公開講座の継続的な推進を図るため、各機関による主体的な運営形態としている。

2019年度の開催内容は下記のとおり。

- ・附属病院：計11回（みんなの健康教室（6回）、心肺蘇生PUSHコース（4回）、市民公開講座（1回））
- ・慈恵医大葛飾医療センター公開セミナー：3回
- ・慈恵医大第三病院：計3回（公開健康セミナー（3回）、市民公開講座（0回））
- ・柏病院市民公開講座：2回
- ・大学：計6回（ひらめき☆ときめきサイエンス1回、公開講座2回、看護学科のみんなの保健室（3回））

新型コロナ拡大予防により、大学主催のみんなの保健室1回、附属病院のみんなの健康教室1回、第三病院の市民公開講座1回、柏の市民公開講座1回は延期・中止となった。

2) 教育に関する公的補助金にかかる事業

- A. 平成28年度文部科学省大学教育再生戦略推進費「課題解決型高度医療人材養成プログラム」
山口大学を代表校とし、本学が連携5大学のひとつとして、取組「慢性の痛みに関する教育プログラムの構築」事業の推進を行った。本学の事業責任者は上園晶一教授（麻酔科学講座）が担当。事業期間は平成28年度～32年度。
- B. 平成29年度大学教育再生戦略推進費「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン」
筑波大学を代表校とし本学が連携13大学のひとつとして、事業「関東がん専門医療人養成拠点」を申請し、採択を受けた。本学の事業責任者は矢野真吾教授（腫瘍・血液内科）が担当。事業期間は平成29年度～33年度。
- C. 平成30年度課題解決型高度医療人材養成プログラム「精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成」
筑波大学を代表校とし茨城県立医療大学・東京慈恵会医科大学が連携大学として、事業「精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成」を申請し、採択を受けた。本学の事業責任者は繁田雅弘教授（精神医学講座）が担当する。事業期間は平成30年度～34年度。

- D. 経常費補助金私立大学改革総合支援事業タイプ2
 地域と大学との連携に対するタイプ3補助金申請を行い、採択には至らなかった。この申請では、調布市大学プラットフォームを構築し、調布市、調布市商工会、調布市文化コミュニティ振興財団、ルーテル学院大学、白百合女子大学、明治大学、桐朋学園芸術短期大学、電気通信大学、東京外国語大学が参画した。
- E. 経常費補助金「情報の公表」
 教育情報の公表について、関係部署からデータ提供の協力を得て、令和元年9月に本学ホームページに掲載し、教育情報の公表を行った。
- 3) 看護学教育プログラム
 看護キャリアサポート部門の研修担当者（奈良京子）と臨床4機関の研修担当者の協力のもと、以下の教育プログラムを実施した。
- (1) エデュケーションナース研修
 ・開催趣旨：新人看護師やプリセプターに対して意図的に適切な指導を行うために必要な知識・技術・態度を修得し、教育担当者としての役割を担う看護師の育成をねらいとした。
 ・開催期間：2019年7月31日（水）～11月19日（火）の内20日間、受講者数：48名
- (2) 基礎教育と臨床の交流研修
 ・開催趣旨：臨床および教育の看護管理者が一堂に集まり、各々の立場から本学の看護の現状と課題について情報交換を行い、【目指す慈恵の看護】を共有し、連携強化を目指した。
 ・開催期間：2020年1月25日（土）～1月26日（日）1泊2日、受講者数：20名
- (3) E L N E C - J コアカリキュラム看護師教育プログラム
 ・開催趣旨：「質の高いエンド・オブ・ライフケアを提供する」という重要な役割を果たすための基本的な知識を養い、コミュニケーションスキルを高めることをねらいとした。
 ・開催期間：2019年12月8日（日）・12月15日（日）2日間、受講者数：29名
- (4) 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル（2019年度開講）
 ・開催趣旨：看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。
 ・開催期間：2019年10月5日（土）～12月14日（土）の内20日間
 受講者数：37名（学内24名、学外13名）
- 4) シミュレーション教育支援
 シミュレーション教育施設委員会（委員長：福島統教授）が中心となり、シミュレータ機器の選定、購入などの機器整備を行い各機関のシミュレーション教育施設の充実を図るとともに、シミュレーション教育施設の管理運営を行った。
 各機関の利用状況は、西新橋校395件、国領校76件、葛飾医療センター190件、柏病院193件、合計854件の利用であった。
- 5) ICT活用教育支援
 (1) eラーニング
 卒前・卒後教育教材の作成とeラーニングのサーバ等のシステムを管理し、利用支援を行うとともに、教材作成を支援した。eラーニングの実績は年間93コース482回であった。内訳は次の通り。
 ・医学科学生 13コース、72回（3年次症候学演習、4年次基本的臨床技能実習など）
 ・看護学科学生 63コース、217回（2年次情報科学、3・4年次在宅看護学実習など）
 ・看護専門学校学生 1コース 1回（災害看護）
 ・大学院博士課程 1コース、16回（疫学臨床研究、生物統計学など）
 ・卒後教育（研修医、看護師、地域医療者など）15コース、176回（鏡視下手術トレーニングなど）

(2) コンピュータ試験の支援

医学教育研究室木村直史教授を責任者として、医学科5年生「総括試験」、医学科2年生「総合試験」、など医学科で12回、看護学科科目横断試験で1回、計13回のコンピュータ試験実施の支援を行った。

(3) クリッカーを活用した授業等の支援

クリッカーの運用・管理、利用者への支援を行った。学生、大学院の授業で計67回利用された。

6) 教育IR部門

学生の学修成果を指標として検証し、本学の医学教育の恒常的な改善を図るための活動を目的とする教育プログラム評価委員会へ卒業時アンケート等の資料提供を行った。

7) 地域医療者教育プログラム

(1) プライマリ・ケアのための臨床研究者育成プログラム

地域医療を行っている医師を対象に「プライマリ・ケアのための臨床研究者育成プログラム」を松島 雅人教授（臨床疫学研究部・教育センター）を責任者として実施した。

平成29年度生・受講生8名、平成30年度生・受講16名、令和元年度生・受講9名を受講生として、講義（eラーニング）を6コース、ワークショップを5回実施した。

8) 市民ボランティア「あけぼの会」の活動

平成24年度より、学生、医師、看護師等への本学らしい医療者教育の拡充を目的に、一般市民ボランティア「あけぼの会」を組織し活動を開始した。この組織は、現在、医学科・看護学科の授業（演習、実習）で実践している市民参加型コミュニケーション教育や、医療面接教育への支援を主としている。

2020年3月31日現在の会員数は33名で、2019年度の活動は次の通りである。

(1) 例会（SP勉強会含む）

第1回例会 2019年4月6日（土） 9：30～12：00（SP、例会）

第2回例会 2019年6月15日（土） 9：30～12：00（SP、例会）

第3回例会 2019年8月31日（土） 9：30～12：00（SP、例会）

第4回例会 2019年11月16日（土） 9：30～12：00（SP、例会）

(2) 授業への参加

医学総論Ⅳ演習 （西新橋校）医学科4年 4月5日（金）14：00～17：00

基本的臨床技能実習（西新橋校）医学科4年 5月10日（金）13：40～17：00

基本的臨床技能実習（西新橋校）医学科4年 5月24日（金）13：40～17：00

医療総論演習 （国領校キャンパス）
医学科・看護学科1年 5月28日（火）13：00～14：30

基本的臨床技能実習（西新橋校）医学科4年 5月31日（金）13：40～17：00

基本的臨床技能実習（西新橋校）医学科4年 6月7日（金）13：40～17：00

基本的臨床技能実習（西新橋校）医学科4年 6月14日（金）13：40～17：00

医学総論Ⅲ演習 （西新橋校）医学科2年 6月19日（水）13：00～14：30

医学総論Ⅲ演習 （西新橋校）医学科3年 7月11日（木）13：40～16：10

形成的 （西新橋校）医学科5年 7月12日（金）13：40～16：10

PCC-OSCE （西新橋校）6年 9月21日（土）7：30～20：30

医学総論Ⅲ演習 （西新橋校）医学科3年 11月8日（金）13：00～16：10

医療総論Ⅰ演習 （国領校キャンパス）
医学科1年 12月 4日（水）13：00～14：30

(3) FDへの協力

PCC-OSCE FD 7月20日（土）9：00～15：00

(4) PCC-OSCEの為の練習会

9月6日（金）14：00～16：30

9月14日（土）10：00～14：30

9) テレビ会議システムの利用支援

4機関合同の教育・研修活動の支援として、テレビ会議運営委員会を主管し、4機関を接続したテレビ会議システムの使用を支援し、年間19回のテレビ会議システムの利用支援を行った。利用内容は4病院合同セーフティーマネージメント、成医会などであった。

10) アウトリーチ活動

アウトリーチ活動推進委員会（委員長：南沢享教授）が主体となり、大学の社会貢献の一環として、教育研究成果の中高校への還元を目的に次の活動を行った。

(1) ひらめきときめきサイエンス

・「クスリになる音楽！ 音楽の効果を科学する」中島 淑恵准教授（看護学科老年看護学）
2019年7月20日（土）国領キャンパス医学科校舎講堂、中学生8名、高校生2名

(2) オープンキャンパスにおけるアウトリーチ活動（2回）

教育・研究および学生のポスター展示、学生クラブ紹介ビデオの上映を行うとともに次の講義を行った。

・8月14日（水）16：10－16：40

「受験生のための疲労・ストレス対策講座」近藤一博教授（ウイルス学講座）

・8月15日（木）16：10－16：40

「心臓突然死から一人でも多くの方を救命するために！」武田 聡教授（救急医学講座）

(3) 港区教育委員会との連携

a) 御成門小学校との活動

9月10日 4年生理科授業（2クラス）川村将仁講師（薬理学講座）

9月12日 6年生理科授業（2クラス）南沢 享教授（細胞生物学講座）

1月30日 5年生理科授業（2クラス）楠原淳子助教（産婦人科学講座）

2月20日 6年生がん教育授業（2クラス）藤本麗子主査、保木本あづさ看護師

11) 教育質的転換プロジェクト

医学科・看護学科及び大学院における教育の質的転換に向けたプロジェクトを令和年度学内公募し、大学院看護学専攻内田満教授による「看護学教育における国際化に向けた質的転換プロジェクト」が選定された。